

## 「第 11 回 日本栄養改善学会 東海支部会学術総会」の開催報告

令和 4 年 6 月 5 日（日）、第 11 回日本栄養改善学会東海支部会学術総会は、「アフターコロナの食生活～時間栄養学的視点による生活習慣の再構築～」をテーマに、愛知県産業労働センターウインクあいちにて開催しました。お蔭様をもちまして、教育講演、市民公開講座、一般演題発表を 156 人のご参加を得て、盛会裡に終えることができました。会期中は初めてのハイブリット形式の運営により不行き届きの点もあり、ご不便・ご迷惑をお掛け致しましたが、何卒、ご容赦下さいますようお願い申し上げます。

教育講演は「時間栄養学を活用したプレジジョン栄養学」と題して名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 小田裕昭先生から、プレジジョン栄養学の視点で個人にふさわしい食事提案や社会全体のプラットフォームの必要性についてのお話をいただきました。



市民公開講座は兵庫県立大学環境人間学部 教授 永井成美先生から「いつ食べる？ 時間栄養学で心と体のコンディショニング」をテーマに社会的時差による体内時計の乱れから心身の不調を生じやすくなることや睡眠医療プラットフォームによる朝型夜型傾向の判定のご紹介をいただきました。

一般演題発表 25 報は 3 会場で行い、各フロアでは専門的で熱のこもった質疑応答が活発に行われておりました。また、展示会場では日常業務に役立てようと多くの会員の方が熱心な情報収集をされておりましたことを大変うれしく思います。



末筆となりましたが、ご参加いただきました会員の皆様方、多大なるご支援・ご協力をいただきました栄養士会、企業の皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、皆様の更なるご活躍を心より祈念申し上げます。

第 11 回 日本栄養改善学会 東海支部会学術総会 大会長  
東海学園大学 健康栄養学部 管理栄養学科 教授 中出美代